

2026 年 10 月 22 日

トクティー株式会社

外国人材の人柄を、母国語の性格診断で採用前に把握。 トクティー、適性診断サービス「SPT」を提供開始

～7 言語対応の性格診断として単独で利用可能。企業が「求める人物像」を設定すれば相性もマッチ度で確認でき、受検データの蓄積とともに精度を高める～

特定技能外国人と日本企業のマッチングプラットフォーム「tokuty」を運営するトクティー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：杉原尚輔）は、2026 年 10 月 22 日（木）より、外国人材向けの適性診断サービス「SPT（Synthetic Personality Test）」の提供を開始します。

SPT は、外国人候補者が母国語を含む 7 言語で受検できる性格診断です。企業は候補者の性格傾向を 10 の観点で確認でき、日本語の面接だけではつかみにくい人柄を採用前に把握できます。さらに、企業が自社の「求める人物像」を設定すれば、候補者との相性をマッチ度（％）で確認することも可能です。診断は、パーソナリティ心理学を専門とする早稲田大学 文学学院の小塩真司教授の助言のもと開発しました。今後は受検データの蓄積に合わせて、診断とマッチングの精度を高めていきます。

背景：「スキル」だけでは測れない、外国人採用のミスマッチ

介護・建設・外食など人手不足が深刻な現場では、特定技能外国人（*）の採用が広がっています。一方で、技能試験や日本語試験で確認できるのは主に「スキル」であり、チームでの働き方や価値観といった「職場との相性」は、入社するまで分からないのが実情です。

さらに外国人採用では、面接は日本語や通訳を介して短時間で行われることが多く、候補者の人柄を十分に知る機会が限られます。その結果、入社後に企業と本人の双方が「想定と違う」と感じ、早期離職や転職につながるケースが課題となっています。

トクティーでは、特定分野での技能に加えて一定以上の日本語能力を持ち、日本での在留経験もある特定技能人材と、企業とのマッチングが可能です。これまでに累計 1,000 社以上の企業の外国人材採用を支援してきました。その中で得た「採用前に相性を共通の物差しで確かめたい」という現場の声に応えるため、SPT を開発しました。

* 特定技能とは、人手不足が深刻な分野で、一定の技能と日本語能力を持つ外国人が就労できる在留資格で、2019 年に創設されました。

SPT で実現できること

01 母国語の性格診断で、候補者の人柄を採用前に把握できる

候補者は日本語・英語・ベトナム語・インドネシア語・ミャンマー語・ネパール語・クメール語（カンボジア）の 7 言語から選んで受検できます。結果は 10 の観点ごとの性格傾向として表示されるため、企業が設問に回答しなくても、面接だけでは見えにくい人柄や価値観を知る材料として活用できます。

02 「求める人物像」を設定すれば、相性をマッチ度で確認できる

企業も 30 問に回答して自社が求める人物像を設定すると、候補者の結果と同じ尺度で照合し、総合マッチ度（％）と観点ごとの差を表示します。相性の良い点だけでなくギャップがある点も事前に分かるため、配属先の検討や受け入れ準備に生かせます。自社に合う人材像を言葉にする機会にもなります。

03 受検データの蓄積とともに、診断の精度を高めていく

SPT は開発段階から、試行調査の回答を統計的に分析して設問を改良してきました。今後も受検データの蓄積に合わせて、設問の調整やマッチング指標の改良を進め、診断の精度を高めていきます。将来的には、入社後に活躍している人材の傾向も分析し、採用と受け入れの改善につなげることを目指します。

SPT の仕組みと利用の流れ

SPT は、外国人材の採用で重視される 10 の観点（語学スキルと学習意欲、協調性と人間関係構築力、心理的安定性・ストレス耐性など）について、候補者が回答する性格診断です。企業も同じ 10 の観点で「求める人物像」を設定でき、設定した場合は候補者との相性も確認できます。どの回答が「良い」「悪い」ということはなく、候補者にとっても「試される」のではなく、自分に合う職場を見つけるための診断です。

開発にあたっては、小塩教授の助言のもと、外国人材を対象とした試行調査を実施しました。回答の傾向を統計的に分析し、その結果をもとに観点ごとの設問を選定・改良しています。

STEP 1	企業：候補者を招待 メールアドレスで受検を依頼（受検期限は 1 週間）
STEP 2	候補者：母国語などで受検 40 問（10 観点×4 問）を 7 段階で回答。所要時間は最大 1 時間
STEP 3	企業：性格診断の結果を確認 候補者の性格傾向を 10 の観点ごとに確認
STEP 4	企業：求める人物像を登録し、マッチ度を確認（任意） 30 問（10 観点×3 問）に回答すると、総合マッチ度（％）と観点ごとの差を確認でき、複数の候補者も比較可能

受検結果は 1 年間有効です。候補者は一度の受検で、その後に依頼を受けた複数の企業と結果を共有できるため、何度も同じ診断を受ける負担がありません。今後は、観点ごとの傾向を視覚的に示すグラフの追加も予定しています。

開発アドバイザー

小塩 真司（おしお・あつし）

早稲田大学 文学学術院 教授

博士（教育心理学・名古屋大学）。専門はパーソナリティ心理学、発達心理学。性格を測定する心理尺度の開発や、文化・集団を超えて同じ特性を測定できているかの検証などに取り組む。SPTの開発にあたり、診断の構成やテストの設計・評価について助言をいただいた。

代表コメント

トクティー株式会社 代表取締役 杉原 尚輔（すぎはら なおすけ）

「外国人材の採用を支援する中で、企業の皆様から「面接だけでは分からない候補者の人柄を把握したい」「自社との相性を定量的に確かめたい」という声を多くいただきました。一方で、外国人材の側も、日本語での面接では自分の持ち味や大切にしている価値観を十分に伝えきれないという課題を抱えています。

SPTは、母国語で受検できる性格診断を通じて、候補者一人ひとりの個性を可視化するサービスです。企業が企業向けの設問（自社が求める人物像を診断）にも回答すれば、候補者との相性をマッチ度として確認できます。企業が回答しない場合でも、候補者の性格診断の結果だけを、人柄を知る材料として活用できます。企業自身も、どのような特性を持つ人材が自社に合い、活躍できるのかを十分に言語化できていないことがありますが、SPTはその整理にも役立ちます。私たちが目指すのは、採用時の相性を示すだけでなく、入社後にどのような人材が活躍しているかというデータを蓄積・分析し、次の採用や受け入れ体制の改善につなげていくことです。

初めて外国人材を採用する企業にも、すでに受け入れている企業にも、SPTを採用と定着に役立つ判断材料の一つとして活用いただきたいと考えています。企業にとっては共に成長できる仲間と出会い、外国人材にとっては自分らしく力を発揮できる職場と出会えるよう、サービスを育ててまいります。」

サービス概要

サービス名	適性診断サービス「SPT（Synthetic Personality Test）」
提供開始日	2026 年 10 月 22 日
対象	外国人材の採用を検討・実施している企業
診断内容	候補者：40 問（10 観点）／企業：求める人物像 30 問（10 観点）
候補者の対応言語	日本語、英語、ベトナム語、インドネシア語、ミャンマー語、ネパール語、クメール語
企業画面の言語	日本語
結果の有効期間	受検日から 1 年間
料金	受検結果の閲覧 1 名あたり 2,000 円（税抜き） 企業の人物像登録・候補者の招待は無料
サービスの問合せ先	TEL：03-5422-1849 E-mail： contact@tokuty.jp

会社概要

会社名	トクティー株式会社
所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16 Daiwa 芝大門ビル 5 階
代表取締役	杉原 尚輔
設立	2018 年 8 月 15 日
資本金	91,089,229 円（2025 年 12 月時点）
事業内容	特定技能マッチングプラットフォーム「tokuty」の運営／オンライン査証申請の開発／特定技能登録支援の運営／在留外国人管理アプリ「Conectee」の運営
拠点	東京（本社）・札幌・名古屋・大阪・福岡の 5 拠点、全国 47 都道府県の企業を支援
URL	コーポレートサイト： https://corp.tokuty.jp サービスサイト： https://tokuty.jp

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

トクティー株式会社 広報責任者 小林 重郷

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16 Daiwa 芝大門ビル 5 階

TEL：03-5422-1854

E-mail：pr-team@tokuty.jp